第２号議案　平成30年度事業計画（案）

事業名

Ⅰ．公益事業

１．医療･保健及び福祉の発展に寄与する事業

講演講師派遣

介護予防教室

機能訓練事業委託　　十島村　鹿児島市社会福祉協議会

（福祉部）

一般県民・介護職への介護技術の伝達と理学療法の啓蒙活動を行う

介護(予防)技術伝達教室の開催(年2回）起居移乗・褥瘡ケアなどの講義・実技指導

鹿児島県介護実習普及センターへの講師派遣

発達サポート研修会（年2回）の開催　障がい児・者福祉部会議

（医療保険部）

診療報酬に関する情報収集を行い会員に対して提供する。運用に関する相談に対応することで、法令に則ったリハビリテーションの実施の徹底。

診療報酬関連法令の情報収集（平成30年度診療報酬改定について）

会員からの相談への対応

（介護保険部）

会員が介護保険報酬・制度の理解を深め法令を遵守した適切な理学療法が行えるよう支援する。

・平成30年度医療・介護保険制度同時改定について、適切な情報収集を行う。

・介護保険報酬・制度に関する適正な解釈について情報を収集する。

・研修会参加

・介護保険報酬並びに保険制度に関する問い合わせに対し、メールで受付け、情報収集をして現状での参考回答を返信する。

２．職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

地域リハビリテーション活動

地区会員の知識・技術の向上、地区会員の情報共有や連携を行う

（姶良地区）　研修会２回　症例検討会１回　地区連絡会会議２回

（北薩地区）　研修会２回　症例検討会１回　地区会議

（鹿児島地区）研修会２回　症例報告会２回　地区会議

ブロック会員が多数研修会に参加すること目的として広報活動を行う

また、ブロック会員の意見を活動に反映させるためにアンケート調査を実施する。

（大隅地区）　研修会２回　症例検討会１回　地区連絡会　年２～３回

（南薩地区）　研修会２回　症例検討会１回　地区会議

（奄美地区）　研修会２回　症例検討会１回　新人教育プログラム（生涯学習部と共催）

（第32回鹿児島県理学療法士学会の開催）

（九州ブロック会）

現職者講習会(佐賀)・管理運営研修会(大分)・臨床実習指導者研修会(長崎）スポーツ大会(熊本)の開催　九州理学療法士作業療法士合同学会2018(沖縄)

（学術部）　協会員の教育や学術の向上をめざし、研修会の成果を県士会員が日常の業務に還元し、リハビリテーション医学の充実に生かしていくことを目的に行う。

年８回研修会を開催（うち日本理学療法士協会主催研修会５回）

（学術資料部）　学術教育に関する文献・ビデオ等資料の収集

学術部主催研修会のビデオ撮影、ビデオ貸し出し依頼の対応

依頼された研修会のビデオ撮影。過去のビデオ（VHS）をDVDへ焼き直し保存

（専門領域研究部）

理学療法の対象分野も多岐にわたり、さらに質の向上も要求されている。専門性の高い、治療技術を持つ理学療法士を育成することで、国家資格取得者として社会に貢献し、その責務を果たさなければならない。そのため知識だけではなく基本的な技術の習得を目指した、少人数の研修会が必要となる。専門職として、より専門的な自己研鑽を行うことを目的とする。神経系３回、呼吸器系３回、小児系２回、生活環境支援系３回、運動器系２回、スポーツ領域２～３回、トピックス系２回、新設する循環器系２回の研修会を予定。

３．教育機関に協力し理学療法士の資質の向上に寄与する事業

（生涯学習部）

(1) 新人会員に対し本会や都道府県士会の組織，役割，歴史等の理解を深める．
(2) 理学療法士としての職業倫理，人間関係，管理・運営，医療法等の理解を深める．
(3) 症例・研究報告等の方法論を学び理学療法の科学性を育成する．
(4) 地域・社会・世界の中における理学療法の動向や立場を認識する．
(5) 理学療法に関連したトピックスに触れ，その将来展望を模索する．
(6) 都道府県士会・ブロック学会での症例・研究報告を推進する．

新人教育プログラムテーマ

必須初期研修

A-1 理学療法の倫理　　A-2 協会組織と生涯学習システム
A-3　リスクマネジメント　　A-4　人間関係および接遇
A-5　理学療法における関連法規

選択研修

B-1 一次救命処置と基本処置　　B-2　クリニカルリーズニング
B-3　統計方法論　　B-4　症例報告・発表の仕方

※Ｂの中から３テーマ実施予定

C-1 神経系疾患の理学療法　　C-2 運動器疾患の理学療法
C-3 内部障害の理学療法　　C-4 高齢者の理学療法
C-5 地域リハビリテーション

※ブロック研修会・専門領域・学術研修会にて実施

D-1 社会の中の理学療法　　D-2　生涯学習と理学療法の専門領域
D-3　理学療法の研究方法論　　D-4　理学療法政策論

※Ｄの中から２テーマ実施予定

E-1臨床実習指導方法論　　E-2 ティーチングとコーチング
E-3 国際社会と理学療法

※Ｅの中から１テーマ実施予定

必須初期研修は、鹿児島市内（計５回；１回は新卒者オリエンテーション）・奄美大島（１回）の２カ所、計５回実施予定
選択研修Ｂ, Ｄ, Ｅは、鹿児島市内で実施予定

（臨床実習指導者連絡協議会）

質の高い理学療法士を輩出するために、卒前教育としての臨床実習教育を充実させる。
臨床実習指導者研修会
鹿児島県臨床実習教育検討会、臨床実習指導者連絡協議会部会の開催

４．理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業

（編集部）　機関紙（ニュース等）の企画・編集・発行に関する事項
その他刊行物の編集、発行に関する事項
№.75～79　５月・７月・10月・12月・２月の年５回の機関誌の発行　編集部会の開催

（調査・資料部）会員の就業実態及び業務内容調査
新人アンケート調査、H30年度診療報酬、介護報酬改定に伴う影響調査
Web上でのアンケート調査回収を予定

５．関連団体との連絡及び協力に関する事業

（公益事業部）医療関連団体等との交流・連携及び関係団体の会議出席
看護・介護職員向け技術研修会　介護予防推進キャンペーン

（渉外部）理学療法士の職域拡大に関する事項、リハビリテーション関連職種・医療・福祉関係団体並びにその他団体との連携に関する事項
シルバーリハビリ体操事業の概要伝達講習会と県内の介護予防事業報告会
鹿児島市市民健康まつりへの参加　介護支援専門員とのワークショップ

６．理学療法士の社会的地位の向上
（広報部）『リハビリテーション相談会』（鹿児島県PT・OT・ST協会会合同）の開催
介護予防推進キャンペーンへの参加。理学療法リーフレット類展示、協会のぼり設置。
奄美進路相談会へのリーフレット類展示、協会のぼり設置。

Ⅱ．その他の事業

１．会員の福利厚生に関する事業
（福利厚生部）　ホームページや機関誌を通じて各種保険等の紹介
会員に対するスポーツ大会の企画及び開催。会員の交流を目的とした懇親会の開催。

Ⅲ．管理費

（総務部）
会員管理(会員入退会及び異動等の手続き及び管理)、日本理学療法士協会との連携
議事録の作成、整理及び保管業務、文書の収受、発行及び管理に関する業務
公印の管理に関する業務、刊行物の発送、整理、保管に関する業務、規定集の作成
公益法人の手続き・必要書類の作成、ホームページ管理
（財務部）
年会費納入案内、会費未納者への納入の催促と未納者リストの作成
研修会参加費徴収業務、予算案及び決算書の作成、各部委員会の予算執行､支払等
出納帳管理、会計監査、会計事務所との連絡、公益法人会計の研修会参加
（理事会）
各部との連絡調整　理事会の開催　法人の業務執行の決定
法人の業務執行に関する内部監査　理事の職務の執行の監督　会長及び副会長の選定及び解職　総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定
関係団体との各種会議への出席　日本理学療法士協会との各種会議への参加
九州ブロック会長会議出席
（選挙管理委員会）
役員選挙の実施と日本理学療法士協会選挙管理委員会との連携
（政策検討委員会）
理学療法士の活動の円滑化と、身分・地位向上に繋がる、政策検討とその啓発活動とそれを進める人材育成・支援を目的とする
１．政策検討を推し進める人材育成・啓発・応援
・委員の編成も含め、政策の勉強会を実施
・鹿児島県理学療法士連盟との情報共有と協力体制継続
・各研修会開催
２．国・県レベルにて、政策提言を行い、その活動を支援する
・国会議員・県庁・県議員とのパイプ作り
・各研修会開催
３．全国レベルで、活動状況の情報共有に努める
・全国会議への参加
（組織運営等検討委員会）
公益社団法人としての活動をするにあたり、運営全般の精査答申を行う
28年度答申後の組織運営・活動の精査
29年度県士会活動全般の精査・検証
精査、検証後必要に応じて会長や自理解への報告（答申）
（50周年記念事業準備委員会）
50周年記念事業(H31年度)についての準備会議
（規約審議委員会）
規程・細則等の検討事項を協議し理事会へ上申
事務所移転に伴う変更の協議、代議員制度行こうに伴う規程変更の協議、その他必要と思われる規程・細則の検討